

## Access 連携プログラム (ExcelToAccess.exe) について

WorkflowEditor で作成したワークフローを Access データベースに登録したり、条件を指定して CSV 形式でデータを出力する事ができます。

### 実行方法

ExcelToAccess.exe と Excel2WFXml.dll を同じフォルダにコピーして ExcelToAccess.exe を実行して下さい。こちらはインストーラーには含まれませんので CD から直接ローカルにコピーして下さい。

### データベースについて

データベースは以下のようになっております。



### アクティビティマスター

アクティビティの名称を定義します。後からアクティビティの名前を容易に変えたり、後からアクティビティを追加しやすいようにマスター化します。

種別は 0：コネクタ、1：接続可能な図形、2：接続不可能な図形となります。

### ブックテーブル

Excel ブックを表します。

ブックファイル実体、ファイル名 (パスは除いたファイル名と拡張子)、更新日を格納します。

ブックが 2007 形式か 2003 形式かは拡張子で判定します。

### シートテーブル

Excel シートを表します。ブックテーブルと 1 対多関連となります。

シート名とシートを XML 化したファイルを格納します。

XML 化したファイルは UTF-8 形式となります。

### アクティビティテーブル

オブジェクトを表します。シートテーブルと 1 対多関連となります。

コネクタはリンクテーブルに格納するので、こちらには入りません。

各アクティビティは必ずどこかの時間軸、アクタに所属する事になります。

座標順序は y 座標 (y 座標が等しい場合は x 座標) で、接続順序はコネクタの矢印でたどる順序となります。

### 時間軸テーブル

時間軸を表します。シートテーブルと 1 対多関連となります。

時間軸名とシート内順序を格納します。

### アクタテーブル

アクタを表します。シートテーブルと 1 対多関連となります。

アクタ名とシート内順序を格納します。

### リンクテーブル

コネクタを表します。線の始点に接続されている図形と終点に接続されている図形、および始点と終点のコンカー、座標を格納します。

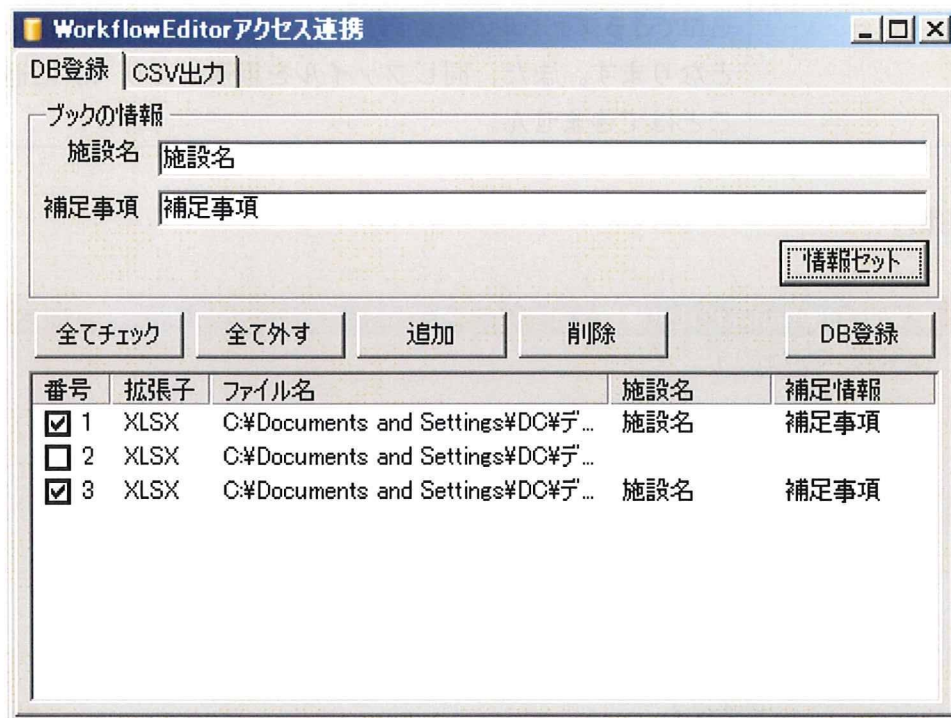
## 操作方法

ExcelToAccess.exe を起動しますと以下のウィンドウが表示されます。

番号	拡張子	ファイル名	施設名	補足情報
----	-----	-------	-----	------

DB へ登録する場合は DB 登録タブを、CSV 出力を行う場合は CSV 出力タブを選択して下さい。

## DB 登録



名前	機能
施設名入力ボックス	施設名を入力します。
補足事項入力ボックス	補足事項を入力します。
情報セットボタン	ファイル一覧でチェックを入れている箇所に入力した施設名と補足事項をセットします。
全てチェックボタン	ファイル一覧チェックボックスの全てにチェックを入れます。
全て外すボタン	ファイル一覧チェックボックスの全てからチェックを外します。
追加ボタン	ファイル選択ダイアログを表示します。こちらで選択したファイルをファイル一覧に追加します。(複数選択可能です) 追加できるファイルの拡張子はxls、xlt、xlsx、xlst、xlsmのみとなります。また、同じファイルを重複してリストに追加することはできません。
削除ボタン	ファイル一覧でチェックを入れているファイルを一覧から削除します。
DB 登録ボタン	ファイル一覧にある Excel ファイルのワークフローデータをデータベースに登録します。



ファイル一覧リスト	<p>DB に登録するファイルを表示します。こちらにファイルをドラッグ&amp;ドロップする事でもファイルを追加できます。</p> <p>追加できるファイルの拡張子は xls、xlt、xlsx、xlst、xlsm のみとなります。また、同じファイルを重複してリストに追加することはできません。</p>
-----------	--

## CSV 出力

The screenshot shows a dialog box titled "WorkflowEditor アクセス連携" with a "CSV出力" tab selected. Under "抽出レコード", the "条件設定" radio button is selected. The "抽出条件" section contains several input fields: "登録日" (set to 2010年 3月 5日), "ファイル名", "シート名", "施設名", "業務名(目的等)", "スコープ(業務範囲等)", and "ポリシー". A "CSV出力" button is located at the bottom right of the dialog.

名前	機能
全レコードチェック	DB に登録されているデータ全てを出力します。 こちらにチェックを入れると抽出条件が無効になります。
条件設定	出力するデータの条件を設定します。 こちらにチェックを入れると抽出条件が有効になります。
登録日	登録日で検索する場合の日にちを設定します。 条件は指定しない/以前/等しい/以降から選択できます。 指定しないを選んだ場合は登録日選択コントロールが無効になります。
ファイル名	Excel ファイル名を指定します。部分一致で検索します。
シート名	Excel シート名を指定します。部分一致で検索します。
施設名	施設名を指定します。部分一致で検索します。
業務名	業務名を指定します。部分一致で検索します。
スコープ	スコープを指定します。部分一致で検索します。
ポリシー	ポリシーを指定します。部分一致で検索します。

CSV 出力ボタン	条件に該当するレコードの CSV ファイルを出力します。 複数条件を設定した場合は AND 条件で検索をします。
-----------	---

### CSV フォーマット

出力する CSV のフォーマットは以下の通りです。

列番号	列名	内容
1	ID	アクティビティテーブルが参照するシートテーブルのシート ID。
2	ファイル名	アクティビティテーブルが参照するシートテーブルが参照するブックテーブルのファイル名から拡張子を除いた物。
3	シート名	シートテーブルのシート名。
4	業務名	ブックテーブルの業務名。
5	スコープ	ブックテーブルのスコープ。
6	ポリシー	ブックテーブルのポリシー。
7	時間軸	アクティビティテーブルが参照する時間軸テーブルの時間軸名。
8	アクタ	アクティビティテーブルが参照するアクタテーブルのアクタ名。
9	アクティビティ種類	アクティビティテーブルが参照するアクティビティマスターのアクティビティ名。
10	テキスト	アクティビティテーブルのテキスト。
11	座標順序	アクティビティテーブルの座標順序。
12	接続順序	アクティビティテーブルの接続順序。
13	変更フラグ	アクティビティテーブルの変更フラグ。

1 行目は見出しとして列名を出力し、2 行目からデータを出力します。

なお、文字コードは SHIFT-JIS となります。

以上

